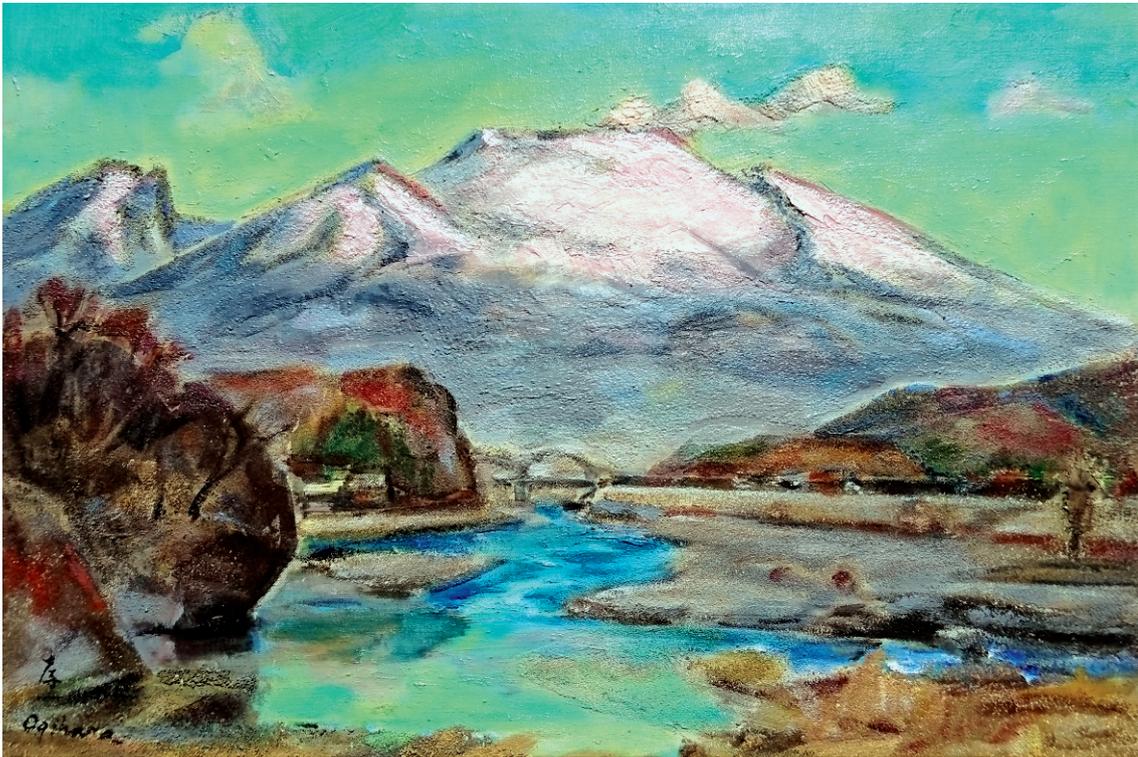


岳南会ニュース

第30号

発行
令和2年1月1日
長野県野沢北高等学校
TEL 0267 (62) 0020
FAX 0267 (63) 5290
岳南会
TEL 080-6936-1083
印刷 (株)佐久印刷所



「冬山河」 荻原孝一 (22回卒) 8号



岳南会会長
高見澤俊雄
(51回)

時代を劃して

頌春
母校創立以来百十九年、改元早々の令和二年の新春を寿ぎながら、会員諸氏の日頃のご支援ご協力に感謝申し上げます。



学校長
北澤 潔

令和新時代と防災

謹賀新年

岳南会の皆様には、日頃より物心両面にわたり温かいご支援をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。会員の皆様から納入いただいた岳南会活動協力費の一部は、クラブ活動後援費や進路指導支援費等として、生徒の様々な教育活動をしっかりと支えるものとなっております。また、卒業五十周年及び三十周年の記念事業としてご寄付いただいたWiFi環境整備、アルトサクソフオン、ドラムセット等につき

振り返り、昨年、続いた天皇陛下御即位の諸行事を思いながら、物心ついて昭和の改元を経験された岳南会員は稀少になられたかと感慨を覚えます。併せて、平成の皇妃殿下は民間の出であり、令和の皇妃殿下は外務官僚であったことに、偶々のこととは云え、皇室の時代への時宜を得た対応を思いました。新皇妃は、国際化の中、英仏語など六ヶ国語に通ずると云います。

折も折、萩生田光一文科相による、大学入学共通テストでの英語の聞き話す力の民間検定試験利用への受験生の(身の丈に合った参加)発言が、経済格差や地域格差の批判を浴びて延期され、更に、国語と数学では、表現力や思考力を問う記述式問題のマークシート式への導入の民間企業による実施に、公正・公平への疑義を生むという状況にまで波及しました。時代の要請と実施方法が齟齬を来していると言わざるを得ません。

ここで想いだすのは、終戦直後、昭和二十三年の学制改革に関連し、教育委員会法施行により長野県初代教育長となった小西謙氏(岳南14回生・岩村田)の時代の波への対応で、エリート教育から大衆教育へと連合国軍政部の強権的施策施行に対し、民主化の本旨に拠りながらも、長野県への融通した適用を堪能な英語で折衝・説得した経緯は、氏の著書『星条旗の下りるまで』に詳しく、その鷹揚たる矜持は敬服に値すると思えます。

今、母校創立百二十周年に当り、少子化という時代の波の中、母校の存立が問われている時、前年度末の県教委による(スーパ)探究研究校指定)も活用し、在籍生徒諸君はもとより、私達岳南会員も、それぞれの立場で、多様性の中での卓越性の実現を理想として、同窓の絆を深めたいと思っております。

ましては、本校の教育活動がより充実したものとなるよう活用してまいりたいと考えております。

さて、元号も改まった令和元年十月、台風十九号が中部地方に上陸し、長野県におきましても東北信を中心に甚大な被害をもたらしました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。この度の台風は、人間がいかに最新の技術力と知恵を駆使して万全と思える備えをしても、強大な自然の力の前では、あまりにも無力であることを痛感させるものでした。阪神大震災や東日本大震災を機に防災教育の重要性が叫ばれております。これは単に自然災害等のメカニズムを学んだり、実践的な防災訓練を行ったりすることにとどまらず、自分そして家族、友人等の命を守り、さらにボランティア等による仲間や被災者への支援のための行

動を実際に起こすことができるのかを、学ぶとともに身につけるといって極めて本質的かつ内面的な問題であるといえます。また、今回は、全生徒・家族及び職員の安否確認という、これまでにあまりなかった経験もいたしました。本校は「オクレンジャー」という連絡網システムに登録しており、これを活用し短時間で安否確認を完了いたしました。担任が電話で家庭の固定電話に連絡し確認した時代のことを思うと隔世の感があります。こちらは、スマホや携帯電話をはじめとする情報技術の進歩と有効性を実感させるものでした。終わりに、会員の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りたくお願い申し上げます。

本をつくるという仕事

幻冬舎新書編集長

小木田 順子(81回)



■新書って何？

北高在学中は、宿題の読書感想文を書くときを除けば、読書経験ほぼゼロだった私が、書籍編集の仕事に就いてもう三十年近くになります。

一九九〇年、新卒で入ったのは、松下幸之助氏が創業したPHP研究所という会社。大学の先輩に誘われて説明会に行ったらすぐ内定をもらえたという、安直このうえない入社でした(バブル時代です)。

その後、二〇〇六年に幻冬舎に入社し、現在に至ります。

所属が変わっても、やっていく仕事はほとんど変わらず、一貫して書籍、それも主に「新書」の編集に携わってきました。

かつて新書といえば、「岩波新書」に代表されるような、アカデミックなテーマを一般読者向けに解説した「教養の本」でした。ですが現在は、ビジネス・健康・人生論など何でもあり。「新書サイズの本」(単行本

と文庫本の中間の大きさ)としか定義できなくなっています。ちなみに、今年の年間ベストセラー一位になると思われる、樹木希林さんの「一切なりゆき」という本も、「文春新書」という新書レーベルから刊行されています。

■企画はどう考えるのか？

書籍編集の仕事は、大きく小説とノンフィクション(広義)に分けられます。

小説の編集は基本的に作家ありき。いかに作家から良い作品をもらうか、有望な新人作家を発掘するかが、仕事の核になります。

これに対してノンフィクション(新書もここに含まれます)は、基本的に企画ありき。編集者が企画を考え、書き手を探して依頼するところから仕事が始まります。

では本の企画はどう考えるのか？ 私の場合、企画を考えるパターンは、「知りたい」「困った」「問いかけたい」「売りたい」の四つにほぼ分けられます。

たとえば「知りたい」でつくったのは『宇宙は何でできているのか』(村山斉著)。宇宙全体の組成では、原子や分子などの目に見える物質はほんの五%、残りの九十五%はまだ正体不明ということを知って驚き、宇宙の成り立ちについてもっと知りたいと思いつつつくった本でした。

「困った」でつくったのは『続ける力』(伊藤真)。仕事をしながら資格試験の勉強をしていた時期があり、やる気が続かないことが最大の悩みでした。そこで、どうしたらやる気を維持し、目標を達成できるのかを、司法試験予備校のカリスマ講師に書いていただきました。

「問いかけたい」でつくったのは『来るべき民主主義』(國分功一郎)。日本は民主主義国家なのに、行政が一度決めてしまったら、市民がどんなに反対してもその決定を覆せないのはおかしいのではないかとそのことを著者の國分さん自身が関わった都道建設反対運動の経験を通して問いかけた本です。

「売りたい」とは文字通り、「今これを出したら売れそう」とヤマツ気で出す本です。

幻冬舎は商業出版の会社なので、すべての本は「売れる」ことが求められます。ただ私の場合、ヤマツ気だけで出した本は、どうしてもうまくいかない(＝売れない)。市場で成果を出すことが求められるものであっても、企画の起点に「私」(が知りたい、困った、問いかけたい等々)がないとうまくいきません。そこが私にとつては、この仕事の厄介なところであり、やりがいを感じる場所でもあります。

■人はなぜ本を読むのか？

紙の出版物の販売額のピークは、一九九六年の二・七兆円でした。それが二〇一八年は一・三兆円と半分以下に落ち込んでいます。この下降傾向が反転することはもうないでしょう。

なぜ本が売れなくなったのか？ テレビや映画、音楽など従来からのライバルに、今はネットの情報、ゲーム、各種動画、SNSなどが加わりました。その結果、コンテンツ間で可処分時間を奪い合う熾烈な競争が繰り広げられ、本はかかなり後れをとっているからです。

ただで、もしくはとても安価で、いくらでも時間を潰せる面白いコンテンツがこんなにたくさんある中で、なぜ「本」を出すのか？ これはほぼすべての現役編集者が突きつけられている深刻な問いで、正直、明確な答えはありません。

ただ、小説のような「物語」の器として、新書のような「知識・知恵」の器として、現時点ではまだ「本」のほうが、「ネット」よりも深さ・正確さにおいて勝っています。また多くの古典は、歴史の検証に耐えた「一〇〇%品質保証」のコンテンツでもあります。

ですので、私はやはり本を読むということは、自分の人生を豊かなものにするために、また社会を良いものにするために、誰にとつても必須のかけがえのない営みだと、訴えたいと思うのです。

■母校への感謝

今年五月、PTA総会の講演で、このようなお話をさせていただきました。在校生の方から「本は著者が書くものだと思っていたが、編集者がこんなに関わっていると知って驚いた」という感想をいただいたことで、自分の仕事を再認識することが

でき、とても励みになりました。人生をもう一度送れるとしたら、また高校時代に戻りたいと思うほど、北高の三年間は私にとつて輝ける日々でした。その母校から、卒業から三十年以上も経って、またこのような学びをいただいたことを、とても嬉しく思い、感謝しています。



岳澄展開催される

令和になって最初となる第二十三回岳澄展が、二〇一九年八月十日〜十五日にかけて、野沢会館多目的ホールで開催されました。

岳澄展は昭和二十七年に始まった野沢北高同窓生と在校生による美術展です。今回は五十名による九十六作品が展示され、期間中に五百名をこえる皆さんが鑑賞に訪れました。



平成を駆け抜け卒業二十年 最高の再会第84回生



平成三十年二月九日、佐久グランドホテルで野沢北高等学校卒業三十周年記念同窓会が行われました。昭和の最後に卒業した私たち84回生が、平成最後の大同窓会ということで、まさに平成の三十年を駆け抜けての再会となりました。

昨年五月、同じ剣道班の川嶋君からの声掛けで七月に第一回目の会議。先輩方からすると、かなり遅いスタートとなりましたが、なんとか役員も決まり、実行委員一丸となって「後輩たちを精一杯応援する」「84回生のみならず元氣になって帰って頂く」という二つの思いを実現するために頑張ってきました。

素晴らしかったのは実行委員の二十三名の皆さんです。皆さんとも多忙にもかかわらず、毎月の会議に嫌な顔ひとつせず集まり、自ら進んで仕事を見つけて活動してください。本当に気持ちよく活動ができました。さらにその実行委員の熱意に心を動かされた84回生の皆さんのおかげで目標額を大幅に上回る寄付金が集ま



り、電子黒板一基をはじめ、集会用テント、楽器、大型扇風機等を後輩のために贈ることができました。

同窓会当日は来賓の高見澤岳南会長、田澤校長をはじめ、在学時に世話になった依田先生、土屋先生、大竹先生、木内先生にお越しいただき、お言葉を頂戴することができました。圧巻はオペラ歌手の四組倉石君率いる倉石楽団（二組井出さん、二組坂井君、四組箕輪さん）でした。倉石君の本気の歌声と生演奏に会場は拍手喝采の渦となり、一組出澤君編集の日輪祭のビデオ上映もあまりの懐かしさに全員スクリーンに釘付けとなり、六組土屋君の名司会ぶりに最後まで盛り上がり、その後クラスごとの二次会・三次会も最高に楽しかったことは言うまでもありません。三十年ぶりに会う同窓生の活躍ぶりは、大きな励みとなり、明日へのパワーにつながりました。次は二十年後の五十周年。また元氣な笑顔で会えるよう、同窓生の活躍と幸福を祈念してご報告いたします。ありがとうございました。

（実行委員長 比田井和孝）

85回生 卒業二十周年記念事業報告



窓会を行いました。

平成三〇年八月には実行委員会を立ち上げました。地元の卒回生を中心に各クラスの幹事を選出し、実行委員長は黒沢一也君（恵仁会理事長）、幹事長は柳田清二君（佐久市長）に引き受けていただきました。準備の段階では大同窓会当日までに七回の実行委員会を行いました。寄付金趣意書・大同窓会案内を発送する作業の中で、かつての級友に連絡を取り、つながりを取り戻していくのは懐かしくそして楽しい時間でした。

当日八月十一日の記念式典・大同窓会は佐久グランドホテルにて、85回生一三五名の出席を得て盛大に行われました。高見澤俊雄岳南会長、北澤潔校長にご出席を賜り、旧担任は二組宮崎清孝先生、三組百瀬貴先生、五組堀内敏治先生、六組川口剛先生にご出席をいただきました。はじめに85回生生物故者追悼を行い、ご冥福を祈りながら野沢北高校での在りし姿をのびました。記念式典では参加者全員



本年度、85回生は卒業三十周年を迎えました。例年の卒回生になり、母校への寄付事業として寄付金を募り、八月十一日に大同

で校歌斉唱ののち、黒沢実行委員長より85回生卒三〇年の寄付として、野沢北高北館WiFi設備一式を北澤中学校長に贈呈させていただきました。その後、柳田幹事長の乾杯により大同窓会へとうつりました。卒業以来久々に顔を合わせる同級生・同学年生も多く、高校時代の懐かしい思い出とともに近況を報告しあいました。また、



と御礼を申し上げ、報告にかえさせていただきます。

（85回生記念事業 実行委員会事務局 小林嘉孝）

小諸支部ゴルフ大会

令和元年10月24日小諸支部主催の岳南会親睦ゴルフコンペが小諸高原ゴルフ場で行われました。小諸支部総会で話が持ち上がり、学年ごとに声をかけて参加者を募った結果、13組、女性3人も含めて46人の大きなコンペとなりました。

優勝上原文人さん（63回卒）、準優勝三浦智之さん（61回卒）、バスケットボールさん（63回卒）。表彰式は多くの賞品で盛り上がり、小諸支部の重鎮53回卒の中



澤嘉雄さんに締めていただきました。会場では台風19号被害の義捐金を募り、多くの方のご協力を頂き、長野県に寄付をいたしました。

参加者からは非第2回目の開催をという要望をいただき、来年に向けて準備を進めていきたいと思っております。

第75回生

卒業四十周年記念同窓会開催



昭和五十三年度卒業の私たちは、平成二十二年八月に卒業三十周年の記念事業と同窓会を行いました。それから、この事業にあたった各クラス代表で、毎年継続して近況報告や来るべき五十周年の大きな節目の同窓会の話をしております。ところが、ここ数年、一



計七十名は集めようと計画が進みます。メールでの連絡のやり取りができる時代ですので、連絡の取りあえての仲間はそれで済ませ、全体には、クラス役員が手分けをして郵送連絡をし、同窓会を五千円、賛助金を一口二千元として、参加依頼

岳南会総会では、高校再編の話が進み、十年後に記念同窓会を開くことができるのか、記念事業が継続されるか、危ぶまれる感じでした。

そこで、本会の規定の記念事業にはなくとも、私たちの世代独自の四十周年記念同窓会を開催することとして、数回の役員会を開いて準備してきました。同窓生に母校の教諭を務めている方もおり、事務局に白石克典氏、幹事長に伴野健一氏をお願いできたことも、四十周年記念同窓会をスムーズに進められた要因です。前回は二百万近い賛助金を集め母校に役立てていただきましたが、今回は記念事業と銘を打つのも気が引けましたので、その十分の一でも集まればいいかな？で話がまとまり、各クラス十名、合



をしました。

九月五日の当日は恩師の小林健一先生、小宮山みよ子先生、冨田隆順先生にも出席していただきました。高見澤俊雄岳南会長先生にもご出席をお願いしましたが、都合がつかず、大変丁寧な岳南会報告書を準備していただきました。お忙しい中、記念同窓会にご協力いただいたこと、御礼申し上げます。

十年ぶりの同窓会ですが、久しぶりでもすぐわかる仲間や、あれ？昔の面影が思い出せない！と感ずる姿も見られます。それでも、酒を酌み交わし、話を重ね、思い出話を語り合うと、不思議と当時のことが紐解かれていきます。楽しく語り合う時間はあつという間に過ぎ、二次会はクラスごとに分かれて実施したので詳しくはわかりませんが、これまた大いに盛り上がった様子です。

来年は還暦を迎える私たちが、令和元年にこの同窓会を開けたこと、歳の周りとはいえない何か大きな節目が飾れた気がします。

大勢の参加、ご協力ありがとうございました。次は五年後、十年後？再会できる日を楽しみに、みんな元気に頑張ろうという気持ちになりました。

(実行委員長 阿部千浩)

「伝統」を新しい「未来」の創造に

岳南65回生卒業五十周年記念式典挙行



またボランティアで積極的に活動する仲間がいる中で、それぞれの想いを胸に、式は進行していきました。

去る十一月二日午後二時、会場の佐久グラウンドホテルには岳南65回生九十四名が集い、卒業五十周年を祝い、旧交を温める記念式典が挙行されました。折しも、佐久地方に甚大な被害をもたらした台風十九号から三週目、被災したり、復旧の中心的な立場にあつたり、



教育環境整備資金を母校に贈呈しました。来賓としてご臨席いただいたのは、岳南会副会長の柳澤重也様、野沢北高等学校校長の北澤潔様、岳南会事務局長の井出誠様、そしてご講演をいただきました映画監督の尹美亜さん(岳南89回卒)。

さて、わたしたち65回生(昭和四十四年三月卒)は、三十周年記念式典以降、学年単位の会を開催することなく、二十年が過ぎていきました。一月五日の岳南会総会でも中々顔を合わせる機会がない。こうした中、三十周年の中心で活躍した中村正直、宮沢彰博両君の呼びかけが奏効し、七組の強力な賛同もあつて、昨年六月、実行委員会の発足を見、式典の実現に至りました。この間、実行委員会は十二回、次の四項目の実施を決定しました。

- ① 記念式典、祝賀会を開催する。
- ② 賛助金を募り、母校の教育を支援する。
- ③ 講演会を実施する。
- ④ 報告書を作成して全員に郵送配布する。

当日、始まりは野沢北高吹奏楽班の伴奏による懐かしい校歌斉唱。さらに演奏を聴き、開会宣言、物故された担任の先生方と旧友達への黙祷、実行委員長の挨拶、そして記念品としてアルトサクソクス、一台とドラムセット一式、



副会長は、第二期高校再編という困難な現実を前に、なお北高の伝統を残しながら優秀な人材を育成することの大切さを語り、校長の北澤先生は、五十年前の卒業式の送辞、答辞に表現された時代の雰囲気に触れながら、現在の素直な北高生に自主自立の気概を持たせたいと力強く表明されました。

また、東日本大震災に取材したドキュメンタリー映画「一陽来復」の監督である尹美亜さんは、東北を取材し、被災した人々に触れながら、交友をとおして得た一つの核心を素直な言葉で表現して、私たちに深い感銘を残しました。

祝賀会は、「オールナイトニッポン」のテーマ曲からスタート。カーペンターズやサイモン&ガーファUNKルなど、懐かしい曲が会場に流れて、古崎仁一君率いる楽団のボサノバが重なって、歓談の渦が会場を覆い、あの頃とよく似た「時間を忘れる」という至福を共有しました。

最後に小川原正樹君の指揮で学生歌を高唱、実行委員長の音頭で万歳三唱し、FM東京の「ジェットストリーム」に包まれて成功裡に散会となりました。

なお、実行委員会の提案で、台風被災者支援の募金箱を会場入り口に用意、集まった志を義援金として佐久市に寄付したことを報告いたします。(実行委員長 相馬徳太郎)

井出公陽君 追悼の辞

突然の訃報に呆然でした。

君は、野沢北高校を昭和三十一年に卒業、爾後、家業の嶋屋種苗株式会社社長・長野県議会議員・母校岳南会副会長と、戦後の疾風怒濤の時代以来、斯界の指導者として格段の活躍をされ、旭日双光章授与の栄に浴しました。その中、昨年九月、逝去、佐久市での告別式には、全国の種苗業界、政界及び各種関係団体等から一、八〇〇名に及ぶ人々が参列し哀悼しました。

今ここに、戦争中の臼田国民学校、戦後の臼田中学校、野沢北高校と、多感な時期を共に臼田町で過ごし、世に出るに際しても、戦死された父君公太郎氏（岳南24回生）に代わり地元に残り、祖父熊蔵氏及び信江夫人と共に家業に精魂を傾けた君と、偶々米国奨学生の恩恵の後、慶応義塾から三井物産に入った私とは、共に実業界に身を置く者同志として、また仲間の絆強い五一岳南会員同志として、折々に盃を重ね莫逆の交わりをしてきたが、まさか、命取りの病を持つ私が残り、慰霊の言葉を捧げるとは、ゆめ思いませんでした。年経ても、君と親しんだ佐久の情景は懐かしいものです。

沢北高では、その暇もなく家業を手伝う君がいて健気でした。

終戦の三日後、ソ連軍との交戦で父君が戦死された悲運を越えて、君は長男の重責を担い、北高在学中から簿記講習を受けて家業継承を準備し、自社種子の栽培者向け納入から温室資材販売へと家業拡大に努め、殊に佐久地域でのレタス等の特産化への道を拓く貢献は大でした。

また、内閣官房長官として国の中枢で活躍の井出一太郎氏が父君公太郎氏の旧制野沢中学校同級生でもあり、推されて、地区青年部長として政治の世界に男のロマンを求め、県議会議員に当選して三期、頑に是々非々を通して農政林務から行財政改革まで七委員会を歴任、最後は県監査委員を勤め上げ、併せて、日本種苗協会諸役員等、君の超人的万能振りに感嘆しました。

平成十三年、母校野沢北高の百周年記念事業にあたり、「岳南会戦没者慰霊碑」が建設され、君は、戦没者二百三十七名の遺族代表として協力され、以後、初代慰霊碑護持会長として毎年六月初旬、ご尊父はもとより、思い半ばで散華した諸霊への慰霊参拝の催しをしてきたことは、君あつての尊い誠款でした。

今、幽明異にして後先はあれ、また君と会って交歓の時まで、安らかに休まれます。合掌
令和元年秋
五一岳南会 井出直人

平成31年総会報告

総会は、恒例の一月五日、佐久グランド・ホテルにて開催、冒頭挨拶は高見澤俊雄会長、続いて田澤直人校長の挨拶及び母校近況報告があり、共に、改元の年の本年が、県教委による少子化対応の「県立高校第二期再編計画」の具体的検討の初年となるとの言及があり、時代の波の厳しさ実感の門出となった。

（議事）では、議長に石山道泰中込副支部長（56回）及び木継正信白田支部長（58回）が就き、会務報告・決算報告及び監査報告・会務計画・会計予算が、順次、原案通り議決された。

また、役員改選は、前年八月、高見澤会長及び井出公陽副会長の辞意表明を受け選定の「役員銓衡委員会」（田原実夫委員長〈60回〉他八名）による三ヶ月余の銓衡結果、会長選任叶わず継続を懇願し、高見澤会長の留任、副会長には篠原秀郷氏（65回・小海）の新任が承認された。（協議）では、①県立高校第二期再編②創立百二十年記念事業の実施③岳南会所有林の放出④総会実施日の変更等への対応が提起され、本年八月の代議員会議で結論を出すこととした。

〔記念講演〕は、神津忠彦東京女子医科大学名誉教授（52回・志賀）により、演題「再編を更なる飛躍の好機に」のもと、海外等で得た課題解決方法と所属大学での実践を視聴覚機材駆使の示唆に富む提案で好評であった。

続いて、母校吹奏楽班の華麗な演奏があり新春を楽しんだ。

新年会は、井出重夫副会長の挨拶、柳田清二佐久市長（85回・野沢）及び小泉俊博小諸市長（78回・三岡）による祝辞があり、倉島裕氏（36回・岩村田）が乾杯先唱し、百十余名参加の盛会の中で交歓、中締めも井出重夫副会長が行い、結びとした。

岳南会 令和2年総会のご案内

日時	2020年1月5日(日)
総会	13:00～
記念講演	14:00～
吹奏楽班演奏	15:15～
懇親会	16:00～
場所	「佐久グランド・ホテル」2F (佐久市中込) ☎0267-62-0031
議事	会務・会計・創立120周年 対応 他
記念講演	演題 「日韓友好への道」 講師 尹美亜(ユン・ミア)氏 (89回卒) 映像制作「オフィス・ミア」代表
懇親会	会費 6,000円
岳南会事務局	佐久市野沢 野沢北高校内 (岳南会用 080-6936-1083)

関西岳南会

2020年度総会・懇親会のご案内

日時	2020年5月9日(土)
総会	12:00～
懇親会	14:00～16:00
	※懇親会は関西鈴蘭会と合同開催 詳細はホームページをご覧ください。 URL http://gaku-suzu.info/
会場	大阪東急REIホテル 〒530-0027 大阪市北区堂山町2-1 ☎06-6315-0109
話題提供	未定 決定次第ホームページに掲載
会費	5,000円 ※学生は優待:2020年卒業生は招待
役員	会長 井出千束56回(高12)S35年 副会長 三浦文夫56回(高12)S35年 // 佐塚 浩58回(高14)S37年 // 相馬 平60回(高16)S39年
連絡先	関西岳南会事務局 中井良策 090-4515-0770 E-mail:roy2234nakai@ares.eonet.ne.jp

東京岳南会

2020年度(第58回)総会・懇親会ご案内

日時	2020年6月6日(土)
	12:30～受付 13:00～総会 13:40～懇親会
会場	「アリスアークガーデン銀座」 東京都中央区京橋3-7-1 相互館110タワー B1F ※銀座線京橋駅2番出口直結 ☎03-3567-8886
会費	6,000円 ※学生は2,000円、新会員は招待
当番幹事	81回(S60年卒) 82回(S61年卒) 91回(H7年卒) 92回(H8年卒) 101回(H17年卒) 102回(H18年卒)
連絡先	東京岳南会幹事長 依田賢治(74回/S53年卒) ☎/Fax:048-463-8584

岳南会再編検討委員会

(旧中高一貫教育研究委員会) 経過報告

2009(平成21)年の発足以来、母校の中高一貫教育実現のために活動してきた「岳南会中高一貫教育研究委員会」は、昨年8月の岳南会代議員会で、新たに「岳南会再編検討委員会」に改組することが決定しました。本稿では、「岳南会中高一貫教育研究委員会」の活動の概要を報告し、さらに「岳南会再編検討委員会」に改組するに至った理由を述べ、同窓生諸賢の「次の議論」を喚起することを目的としたい、そのように考えます。

【活動の概要】

- ① 研究委員会 2019年8月まで48回開催
 - ② 佐久地区市町村教育委員会への説明
 - ③ 佐久市議会議員(岳南会出身)への協力依頼
 - ④ 視察研修
屋代高校附属中学校
諏訪清陵高校附属中学校
 - ⑤ 野沢北高校への働きかけ
母校の主體的な取り組みを要請する要望書の提出 2019年1年
 - ⑥ 県教委再編担当の招聘、説明会開催 2018年11月
- 以上のとおりです。

【組織改編の理由】

さて、昨年の本欄でも紹介し

ましたが、新たな中高一貫校の設置については、これまで県教委から見解が表明されていません。そしてこの間、「高校改革」に夢に挑戦する学びの実施方針(2018年9月)に沿って、新たな第2期再編の構想を実施に移して行こうとしています。そこで、次の観点から組織の改組を提案、決定を見た次第です。

- ① 「佐久市内普通高校の再編」という現実的的確に対処し、魅力ある学校と教育システムを構想し、その実現を目指すことが喫緊の課題である。
 - ② その際、佐久の「協議会」の動向を注視し、佐久地区の新しい教育のあり方について、他校同窓会とも連携して対応することが必要である。
 - ③ 当面の研究活動を端的に表現し、外部への発信を明確にするため、名称を「岳南会再編検討委員会」に変更し、爾来の研究成果の上に、さらに新鮮な視点を注入する。
- 以上、2020(令和2)年初頭における岳南会の研究経緯を述べました。旧委員会の目的は、佐久の子どもたちの未来を展望した、「真の学力」を涵養する学校を構想することにあります。それは今日も変わりません。「次の議論」をとおりして新しい教育の姿と環境を具体的に考え、実現に向け行動していきたいと考えます。

岳南会再編検討委員会委員長
篠原 秀郷 65回

平成31年令和元年 会務報告(総会1月5日以降、事務局把握分)

1月 5日(土) 第1回三役会・第1回代議員会 平成31年岳南会総会 於佐久グランドホテル 参加者約150名 記念講演 神津忠彦氏(52回) 東京女子医科大学名誉教授 演題「再編を更なる飛躍の好機に」	5月26日(日) 吹奏楽定期演奏会 小諸支部より花贈呈 6月 2日(日) 戦没者慰霊祭 会長・副会長(3名)・教頭出席 6月 6日(木) 役員改選委員会開催 出席者5名 校長・事務局出席	8月24日(土) 第2回代議員会・懇親会(三河屋) 75回卒「卒業40周年記念同窓会」 9月15日(日) 於佐久グランドホテル 実行委員長・阿部千浩 参加者 100名 創立120周年記念事業実行委員会準備会
1月23日(水) 長野支部総会開催 出席者42名 会長・校長・事務局出席	6月 8日(土) 東京岳南会開催 於:アリス・アクア・ガーデン 銀座 出席者71名 会長・校長・事務局出席	9月25日(水) 創立120周年記念事業実行委員会準備会 10月11日(金) 中込支部総会開催 出席者16名 校長・事務局出席
2月 9日(土) 84回卒「卒業30周年記念同窓会」 於:佐久グランドホテル 実行委員長:比田井和孝 参加者 152名 会長・校長出席	6月11日(火) 第2回三役会・岳南会所有林視察(9名)・慰労会 (鶴壽司:12名)	10月21日(土) 第49回再編検討委員会(中高一貫教育研究委員会名称変更)
2月 9日(土) 東支部総会開催 出席者17名 事務局出席	6月13日(木) 第47回中高一貫教育研究委員会	10月26日(金) 松本支部総会開催 出席者12名 校長出席
2月16日(土) 大沢支部準備会 事務局出席	6月15日(土) 小諸支部総会開催 出席者35名 会長・校長・事務局出席	11月 2日(土) 65回卒「卒業50周年記念同窓会」 於 佐久グランドホテル 実行委員長:相馬徳太郎 参加者98名 柳澤副会長・校長・事務局出席
3月 2日(土) 野沢北高校卒業式 会長・副会長 計4名出席	6月15日(土) 平賀支部総会開催	11月25日(月) 「岳南会会計」監査
3月22日(金) 野沢北高校教職員送別会 会長・副会長 計4名出席	6月21日(金) 佐久町支部総会開催 出席者13名 会長・篠原(節)副会長出席	11月30日(土) 創立120周年記念事業実行委員会
3月23日(土) 第45回中高一貫教育研究委員会	6月21日(金) 前山支部総会開催 出席者14名 校長・事務局出席	
4月 3日(水) 野沢北高校入学式 会長・副会長 計4名出席	6月22日(土) 岸野支部総会開催 出席者25名 会長・事務局出席	
4月 6日(土) 臼田支部総会開催 出席者13名 会長・校長・事務局出席	7月13日(土) 桜井支部総会開催 出席者25名 校長・事務局出席	
4月12日(金) 野沢北高校教職員歓迎会開催 会長・副会長 計3名出席	8月10日(土)~15日(木) 岳澄展 野沢会館 岳南会員38名及び 在校生出席 会長出席	
4月20日(土) 八千穂支部総会開催 出席者15名 会長出席	8月11日(金) 85回卒「卒業30周年記念同窓会」 於:佐久グランドホテル 実行委員長:黒澤一 也参加者151名 会長・校長出席	
4月20日(土) 小海支部総会開催 出席者11名 校長・篠原(秀)副会長出席	8月15日(木) 第48回中高一貫教育研究委員会 8月19日(月) 第2回三役会 (同窓会館)	
4月27日(土) 第46回中高一貫教育研究委員会		
5月25日(土) 関西岳南会開催(岳南会・鈴蘭会共同開催) 於:大阪東急REIホテル		

会務計画(今後の予定)

1. 岳南会総会 令和2年1月5日(日)佐久グランドホテル
次年度より第2土曜日
2. 役員会 (年3回...5月,8月,12月)
3. 代議員会(年2回...1月第2土曜日,8月最終土曜日)
4. 各支部総会(各支部ごとに計画)
5. 再編検討委員会(中高一貫教育研究委員会名称変更)(年数回)
6. 役員改選委員会(適宜)
7. 「岳南会ニュース」発行 含む協力金依頼(12月中旬)
8. その他 「卒業記念同窓会」
30周年(86回卒),50周年:(66回卒)

令和元年度 岳南会 一般会計決算書

会計期間 平成30年11月16日~令和元年11月15日

収入総額 12,488,580円 支出総額 6,486,721円 差引残額 6,001,859円

【収入の部】

項目	収入済額	備考
入会金	1,194,000	6,000円×199人(平成31年4月入学生)
卒業生終身会費	1,000,000	5,000円×200人(平成31年3月卒業生)
総会会費	558,000	6,000円×93人
事務費	300,000	岳南塾より事務職員人件費補助
岳南会館維持管理費	497,500	2,500円×199人(平成31年4月入学生)
進路指導支援費	497,500	2,500円×199人(平成31年4月入学生)
岳南会活動協力金	4,052,961	郵便局(1,827,568)・コンビニ(2,078,088)・現金(147,305)
繰越金	4,372,395	
雑収入	16,224	名簿代、百年史代、利息等
合計	12,488,580	

令和元年11月25日

会計監査 仁科英太郎 ㊞
篠澤 一平 ㊞
白井 正幸 ㊞

単位:円

【支出の部】

項目	支出済額	備考
会報発行費	1,972,572	会報印刷費、封筒印刷費、振込用紙印刷費、郵送料等
総会費	829,137	会場費、講師謝礼、懇親会費、総会案内用往復葉書等
役員会議費	193,135	三役会、代議員会、役員選委員会、会計監査等
支部会議費	467,783	祝儀、旅費等
高校再編検討会議費	55,167	旅費等
慶弔費	519,577	祝儀、儀礼、香典、弔電、卒業証書用筒、新入生校章バッジ等
財産管理費	101,802	固定資産税、山林管理費等
クラブ等後援費	303,432	1,000円×199名、全国大会祝儀、広告料等
進路指導支援費	600,000	進路指導室支援
岳南会館維持管理費	758,383	会館電気料、岳南会携帯電話料、和室畳更新等
事務費	685,733	事務職員人件費、事務用品、葉書、封筒、切手等
予備費	0	
合計	6,486,721	

紙面の都合で、令和2年度岳南会会計予算案は割愛させていただきました。

進路指導室から

岳南会の皆さまには、日頃から本校の進路指導に関し多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。今年も現在の進路状況についてご報告させていただきます。

平成三十一年度入試大学入試センター試験七科目型全国平均点は、国語現代文と英語リスニ

大学等合格状況

(2019.5.1 現在)

卒業生数	国公立大学	準大学	私立大学	外国大学等	大学計	公立短大	私立短大	短大計	各種/専修	総計	
200	現	74	2	241	2	319	2	0	2	6	329
	過	12	0	66	0	78	0	1	1	1	81
	計	86	2	307	2	397	2	1	3	7	410

国立大学合格者数			
大学名	現	過	計
帯広畜産	1		1
北海道	1		1
北見工業		1	1
宮城教育	1		1
東北	1		1
秋田		1	1
茨城		1	1
群馬	5		5
埼玉	1	1	2
電気通信	1		1
横浜国立	1		1
上越	1		1
新潟	7		7
富山	5	2	7
金沢	1	1	2
福井	1		1
山梨	1		1
信州	14	2	16
(人文)			
(教育)	3	1	4
(経法)	1		1
(理)	2		2
(医-医)		1	1
(医-保健)	3		3
(工)	4		4
(繊維)	1		1
静岡	2	1	3
名古屋	1		1
広島		1	1
愛媛	1		1
宮崎	1		1

公立大学/準大学合格者数			
大学名	現	過	計
秋田	1		1
茨城		1	1
高崎	5		5
首都大	3		3
横浜	2		2
長岡	1		1
富山	2		2
福井	1		1
都留	2		2
山梨	3		3
長野	3		3
長野	2		2
公立諏訪	1		1
静岡	1		1
防衛	1		1
国立	1		1

公立短大合格者数			
大学名	現	過	計
山形	1		1
川崎	1		1

私立大学合格者数			
大学名	現	過	計
東北	1		1

つくば	2		2
国際医療福祉	7	4	11
群馬	9		9
群馬		1	1
高崎	5	1	6
共栄		1	1
埼玉	1	1	2
城西		1	1
駿河	1		1
獨協	1		1
日本医療	3		3
文教	3		3
神田	1		1
秀明		1	1
城西	1		1
聖徳	1		1
千葉	3		3
青山	8		8
桜美林	4	1	5
大妻	2		2
学習	1	1	2
北里	4	1	5
共立	1		1
杏林	8	1	9
慶応	2	1	3
恵泉	1		1
工学		3	3
国士	1		1
駒澤	4	1	5
芝浦	2	1	3
順天	1		1
上智	1		1
昭和	1	2	3
昭和	2		2
成城	1		1
専修	3	2	5
大東	1		1
拓殖	1		1
玉川		1	1
多摩	1		1
中央	4	3	7
帝京	7		7
東海	14	2	16
東京	1		1
東京	3		3
東京	1	2	3
東京	6		6
東京	1		1
東京	1		1
東京	3	1	4
東京	1	1	2
東京	1	1	2
東京	2		2
東京	5	2	7
東京	1	1	2
東京	1		1
東京	14	1	15
日	8	5	13
日	1		1

日本	2		2
文	1		1
法	6	1	7
星	2		2
武蔵	5	1	6
武蔵	2		2
明	2	2	4
明	3	3	6
明治	2		2
明治	2		2
立	2	1	3
早	2	1	3
神	7		7
神	2		2
鎌	2		2
フェリス	1		1
新	3		3
新		1	1
金	1		1
金	3	2	5
佐	2		2
清	1		1
岐		1	1
愛	1		1
金	1		1
大		1	1
中	1	1	2
名	3		3
名	1		1
藤		1	1
名	2		2
京	3		3
同		1	1
立	5	4	9
龍	2		2
奈	1		1
関	1		1
近	2		2
関	1		1
神	1		1

外国大学等合格者数			
	現	過	計
外国	2		2

私立短大合格者数			
大学名	現	過	計
松本	1		1

専修・各種学校合格者数			
学科系統	現	過	計
医療	4		4
その他	3		3

就職・家居等			
	現	過	計
民間			
企業			
各種			
公務			
員			
居	1		1

ングの易化により文系五七〇点(得点率六三%)、理系五七六点(同六四%)で前年度から大幅アップしました。「ベネッセ・データネット実行委員会予測」。本校文系生は五八〇点(得点率約六四%)、理系生は五九四点(同約六九%)となり、前年度苦戦した理系生の得点率約五九%が一〇%回復する結果になりました。

▼卒業生の概況
平成三十一年度末における大学合格者数は掲載表の通りです。現役生の国立大学合格者数は、準大学を含め七六名(うち進学者は七〇名)でした。難関大学は北海道大・東北大・名古屋大各一名、医学科は残念ながら現役合格に結実できませんでした。信州大学及び県内四つの公立大学に加え、群馬・新潟・富山・

山梨・静岡といった近隣の国立大学進学が比較的多かったことが特徴であったといえます。また、中・後期合格者一七名(前年度比二名増)と「最後まで諦めない」姿勢も継続することができました。

私立大学進学者は七四名。これは前年度と同数でした。現役志向の傾向は続いていると考えます。一方、掲載表にはありま

せんが、浪人生は四名です。しかし、うち二名は国・私立大学に合格しつつも第一志望を諦めずに再挑戦を選択しています。

▼在校生の現況

令和の新しい時代になり、現三学年には二〇一名が在籍しています。令和二年度入試で大学入試センター試験も最後を迎えます。九八%にあたる一九七名が出願しました。現在入試改革が進行する中、「英語外部試験」の導入は先送りされたものの、令和三年度入試から通称「共通テスト」が始まります。巷間、現役・安全志向が強まる、と云われています。しかしほとんど生徒は安易な志望変更をせず、第一志望突破のために日々の授業に励んでいます。

▼進路実現のために

「主体的・対話的・深い学び」が現在進行している入試改革のキーワードの一つです。岳南会員の皆さまに協力いただきながら実施する折々の進路行事を通じて、北高生は主体的に自己の将来像を探究していくはず。今後とも岳南会員の皆さまによる後輩生徒への支援をよろしくお願い申し上げます。

進路指導係 池田 直樹

クラブ活動報告 (主な結果のみ)

運動班

●野球

<第101回全国高等学校
野球選手権長野大会>
本校 8-1 上伊那農業
本校 3-4 長野日大

●陸上

<県大会>
(男子)
やり投 宮沢颯助 4位
400mハードル 石川泰地 6位
(女子)
やり投 林実玲 5位
<北信越大会>
(男子)
やり投 宮沢颯助 決勝 15位
400mハードル 石川泰地 予選敗退
(女子)
やり投 林実玲 決勝 21位

●剣道

<県大会>
(男子)
団体 予選通過
決勝トーナメント1回戦敗退
(女子)
団体 予選通過
決勝トーナメント1回戦敗退

●ソフトテニス

<県大会>
(女子)
団体戦 1回戦
本校 0-2 塩尻志學館
個人戦
木村・友野ペア
6位でインターハイへ
<北信越大会>
(女子)
団体戦 1回戦
個人戦 1回戦

木村・友野ペア 0-4
菊川・山崎ペア
(富山・高岡商業)

<全国大会>
個人戦 1回戦
木村・友野ペア 2-4
萩原・関根ペア
(群馬・伊勢崎清明)

●テニス

<県総体>
(男子)
団体戦 1R
猿谷 知紀 1-6 松商学園
柳澤・平林 0-6 松商学園
阿部 公太 3-6 松商学園
個人戦
全日本JR 1R
猿谷知紀 6(2)-7 松商学園

●バスケットボール

<総体県大会>
(男子)
本校 71-78 飯田
(女子) ベスト16
本校 86-64 飯田女子
本校 55-74 市立長野

●ハンドボール

<総体県大会>
(男子)
本校 21-27 坂城
(女子) ベスト8
本校 14-31 松本蟻ヶ崎

●弓道

<総体県大会>
(男子)
個人戦 予選敗退
団体戦 ベスト8
(女子)
団体戦 予選敗退

●水泳

<県総合体育大会>
(男子)
甘利一真
2200m背泳ぎ 4位
400m自由形 4位
(女子)
小林萌笑
100mバタフライ 6位
200mバタフライ 4位
永原彩
100m背泳ぎ 3位
200m背泳ぎ 2位
団体
女子400mリレー 5位
女子400mメドレーリレー 6位
<北信越大会>
(男子)
甘利一真
200m背泳ぎ 予選15位
400m自由形 予選22位
(女子)
永原彩
100m背泳ぎ 決勝7位
200m背泳ぎ 決勝9位

母校近況



小林萌笑
100mバタフライ 予選14位
200mバタフライ 決勝10位
団体
女子400mリレー 予選16位
女子400mメドレーリレー 予選15位

文化班

●棋道

<長野県高等学校
将棋選手権大会>
男子団体戦
野沢北A
(高瀬、佐藤、菊池)
6位
野沢北B
(小金沢、笹澤、畑)
8位
男子個人戦A級
篠原康平ベスト16
眞保拓弥ベスト16
阿部透也ベスト32
高橋直也ベスト32

<英語レシテーション
コンテスト>
4名出場 セミファイナリス
ト1名
2-2 江川内ひな

●軽音楽

<イングリッシュキャンプ>
第27回長野県高等学校
軽音楽系クラブ合同演奏会
東北信大会
Power Live 2019 TH
審査員賞(ベスト16):
テブクロケット
(3年:武重・石井・篠原)
奨励賞(ベスト25):
Mix Juice
(3年:中澤・小林・森泉・
眞田・掛川)
以上2バンド県大会に進出

●英語

<イングリッシュキャンプ>
movie contest 部門
21校中準優勝

事務局だより

岳南会活動協力金について

岳南会の活動は、毎年会員様から納入していただいている「岳南会活動協力金」が資金になっています。

一昨年より二種類の振替用紙(コンビニ用と郵便局用)を同封しております。いずれも振込手数料は不要です。

ご協力いただける方はどちらかの振込用紙をご利用いただきご入金ください。

尚、印刷代・発送代の高騰により「二千円以上の協力金」をお願いしております。何卒ご了承のほどお願いいたします。

住所等の変更について

お名前・住所等が変わられた方は、「住所等の変更手続き」をお願いしております。

方法につきましては、岳南会ニュースとともに同封しました鑑の「個人情報の変更についてのお願い」の欄をお読みいただき、いずれかの方法で手続きをお願いいたします。

末永く「岳南会ニュース」をお届けするためにもお願いいたします。尚、「岳南会ニュース」の

発送及び「活動協力金」の業務は、(株)サラトに委託しております。

編集後記

昨年は令和の新時代を迎え、それぞれが思いを深めた一年間でした。そのようななか、台風十九号が襲来し、この佐久の地にも大きな惨禍をもたらしました。被害を蒙られた会員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。今年が安らかな年になることを願ってやみません。